

STOP ROADKILL!

2017年 希少野生動物の交通事故発生状況のまとめ

昨年は一年間でヤンバルクイナ30羽、アカヒゲ1羽、ケナガネズミ2匹の交通事故が確認されました。ヤンバルクイナの事故のうち、命が助かったのは4羽のみ。このうち2羽は完治し、野生に帰すことができましたが、残りの2羽は現在も入院中です。

特に印象に残っているのは、繁殖期である6月の夜間にヤンバルクイナのヒナが2羽同時に死亡した事です。ヤンバルクイナは基本的に昼行性ですが、子育て時期には親鳥がヒナを連れて夜の路上をうろろしたり、うずくまって寝ている事があります。夜道は見通しが悪いうえに、ヒナは親鳥よりも黒っぽい色をしているので、路上にいるとかなり見えにくく、いっそうの注意が必要になります。

同じく6月に「ヤンバルクイナを轢いてしまった!」という方から連絡がありました。

いつもヤンバルクイナに気を付けていたけれど、急に飛び出してきた為、ぶつかってしまったそうです。職員が急ぎ現場へ向かい動物病院へ搬送、獣医さんに診てもらったところ、大きなケガはなく、一週間後には野生に返すことができました。

スピードを落としてさえいれば、大きなケガを負わずに済むことを示す貴重な一例でした。

ヤンバルクイナの交通事故件数は、2014年から順調に減少しつつあります。引き続き、交通事故防止にご協力よろしくお願いします。(皆藤)



小中学校とのヤンバルクイナ集落プレイバック調査

ウフギー自然館では、毎年2月に奥・北国・安田・安波・佐手・高江小学校の皆さんと一緒にヤンバルクイナの調査をしています。集落の行政マイクから録音されたヤンバルクイナの鳴き声を流し、森や畑から鳴き返してくる野生のヤンバルクイナの声を数えます。

佐手小学校の皆さんとは佐手・辺野喜集落で調査をしました。当日はとても風が強く肌寒い日でしたが、皆さん元気に取り組んでくれました。調査の結果、それぞれの集落で3~5羽の鳴き声が聞こえました。

ヤンバルクイナも、この寒さの中でたくましく生きています。



新ストップロードキルマグネット2種 3月末より頒布開始!



大好評の内に頒布を終了した「STOP ROADKILL オキナワイシカワガエル」マグネットに続き、この度2種類の新マグネットが完成しました。

以前から要望が多かった「ヤンバルクイナ」のデザインは渡久地豊氏(工房リュウキュウロビン)、雨の日の事故が非常に多い「リュウキュウヤマガメ」は(「オキナワイシカワガエル」版に続き)福家悠介氏(京大院)がデザインしました。

どちらも躍動感ある素敵なデザインになりました。マグネットとセットで、ストップロードキルを呼び掛けるチラシも配布します。どうぞ、じっくり目を通されてみて下さい。マグネットは、どちらも400円での頒布となっています。

ロードキルと、それがもたらす負の連鎖を無くすため、ご協力をよろしくお願い致します。

2018.3.発行
 やんばる野生生物保護センター『ウフギ自然館』
 〒905-1413 沖縄県国頭村字比地263-1
 TEL:0980-50-1025 FAX:0980-50-1026

やんばる自然体験活動協議会 ニュースレター

2018年
春号
 Vol.37号

イタジイの森



ウフギー自然館横の森から伸びあがる、新緑のイタジイ

Top
page
Voice

寒かった今年の冬も、三寒四温を繰り返し山々は新緑や花々が美しい、命輝く季節となりました…♪

ウフギー自然館毎月恒例の「お散歩観察会」も、春の林道をゆっくり歩いて季節の変化を確かめつつ3月の回を終了。アオカナヘビの登場に歓声が上がり、イタジイの花の香りやエゴノキの白い花の絨毯、ヤマビワソウのシャキシャキ食感に春の訪れを感じる観察会となりました。

当協議会の各イベントとも、地元はもちろん県内各地から毎回多くの皆さまに参加して頂いていますが、とりわけ子ども達のイキイキとした姿に喜びとやり甲斐を感じます。観察会、体験会を楽しみ、ちょっと難しい講演会も好きな生きものの話を大人に混じって真剣に聞き、外来植物駆除や落ち葉集めのボランティア作業も汗まみれ、泥まみれになりながら嬉々として活動する子ども達…。人も木も、小さい頃に蒔かれた種が、それぞれの環境で個性豊かに伸び伸び成長し、いつの日か立派な木となり豊かな森を作ってくれるであろうことを夢見る、新緑まぶしい春の日です。(Nao)

編集後記

年が明けたと思ったら、あっという間に3月後半…。2017年度も駆け足で過ぎていこうとしています。今年度は世界自然遺産登録に向けての動きもめまぐるしいものがありました。生まれ育った地元の自然環境が、世界に誇れる価値あるものであることを理解し、地元暮らし私たちに与える価値や魅力、課題、展望についても一緒に考えていきたいと改めて思いました。2018年度も、どうぞよろしくお願い致します。(Nao)

やんばる自然体験活動協議会

-----【構成団体】-----
 国頭村・大宜味村・東村・沖縄県環境部・環境省那覇自然環境事務所

2018.3.発行
 やんばる野生生物保護センター『ウフギ自然館』
 〒905-1413 沖縄県国頭村字比地263-1
 TEL:0980-50-1025 FAX:0980-50-1026

～平成29年度後半 協議会イベントの報告～

ボランティア作業に講演会、体験会いろいろありました!

◎9月～2月、やんばる自然体験活動協議会主催で下記の様々なイベントが行われました。探索会、講演会、体験会に作業あり…!毎回多くの参加者の皆さまで賑わい、楽しく学び多い内容となりました。ご参加、ご協力、ありがとうございました。

これからも、地元の魅力を発見できる楽しく学びの多いイベントを企画していきたいと思ひます。来年度も、どうぞよろしくお願い致します。

「やんばるの人々と森の暮らし」9/30(土) 講師:滝澤玲子氏(京都大学)・宮城邦昌氏(奥郷友会)



かつて、やんばるの山々で行われていた炭焼きの跡地調査・研究の報告を兼ねて、地元の皆さんで奥のアカギ山を探索。

「落ち葉集め・外来植物駆除ボランティア作業」②11/11(土) 田嘉里・③H30、2/24(土)やんばる学びの森



第2回:竹畑を覆ったツルヒヨドリ駆除。辺高生頑張った!

第3回:ヤンバルクイナケージ用の落ち葉集め。ちびっ子たち頑張った!

「ワイルドライフ アート展」関連イベント 11/25(土)～26(日) 講師:岡田宗徳氏(アトリエマンセル)



☆森の観察会(11/25)

☆講演会(11/25)

☆動物お絵かき教室(11/26)

講演会「ヒメハブの生き方」12/16(土) 講師:森哲氏(京都大学)



長年の調査・研究から見てきたやんばるのヒメハブの驚きの生態を報告してもらいました。

「ヒメハブ講演会」参加者の感想

- ・エコモードで、本当にニープヤーのヘビだった!
- ・30～40年と寿命がすごく長いことに驚いた。
- ・ヘビの中でも低体温で、主に冬場に活動するのが不思議。

体験会「植物で世界地図」H30、2/4(日) 講師:佐藤寛之氏(沖縄生物倶楽部)



身近な植物の原産地を調べて、世界地図を作ってみました。国頭村森林公園休養施設周辺は在来植物の方が多かった…♪

(環境省からのお知らせ) やんばる国立公園の区域の変更について



平成28年9月15日に誕生し、世界自然遺産も目指しているやんばる国立公園。現在、隣接する北部訓練場の返還地も合わせて、密猟や盗掘対策などが取れるよう、やんばる国立公園の区域の拡張を検討してきました。地域の皆さまとの懇談会を通じていただいたご質問やご意見も含めて区域を検討しましたが、国立公園についての不安や疑問がまだまだ多いという声があります。懇談会の内容の一部をご紹介しますが、わからないことがあれば、やんばる自然保護官事務所(ウフギー自然館内、0980-50-1025)にも、お気軽にお問い合わせください。

【東村】平成29年12月4日(月)東村役場にて

Q:国立公園に立ち入るのは大丈夫ですか?

A:やんばる国立公園は立ち入りを規制していないので、入れます。土地所有者へは、ひと言ご連絡をお願いします。

Q:ガイドを付けた利用についてしくみを吟味していくべきでは。

A:世界遺産候補地内の森林の利用の仕方を、「森林ツーリズム」として地域のガイドの方を中心に検討されています。国立公園利用者に対し、公園利用の際のマナーや事故防止などの必要な助言及び指導、必要な情報の収集及び提供を行うことができる方を、自然公園指導員として推薦する制度もあります。

【国頭村】平成29年12月5日(火)国頭村ふれあいセンターにて

O:業種ごとに説明をすることが必要。ほしい情報が業種ごとに異なります。

O:違反した場合に罰金のある行為について説明があってもよいのではないのでしょうか。

【大宜味村】平成29年12月6日(水)大宜味村役場にて

Q:畑作業に規制がかかりますか?

A:現時点で畑地になっているところは、通常の畑作業であれば、手続き自体が必要ないしくみになっています。

Q:地種区分はどのように決めたのですか?

A:生態系の豊かさなどを調べた結果を元に、規制に基づき保全することを土地所有者などと調整して検討しています。

Q:東村内に昔、シャリンバイの染め物工場がありました。そのような文化財は保全できませんか?

A:文化財は自然公園法ではなく、別の制度で守るしくみがあります。やんばる国立公園の活用の仕方として文化財と絡ませるのはいいアイデアです。



Q:質問 **O:**ご意見 **A:**回答

さまざまなご意見やご質問をいただき、ありがとうございました。今後も国立公園の活用や地域へのお知らせの仕方に役立てていきます。

(やんばる自然保護官事務所 池田)